

ー労働と教育の場「雑草」・クローバーハウス・生活支援センター・法人・後援会だよりー

あらぐさニュース

2012 10

Vol.47

発行／社会福祉法人あらぐさ福祉会 〒362-0051 上尾市地頭方 438-6 TEL048-726-5720 048-726-5862 (支援センター直通)

日帰り旅行に行ってきました！

10月18日(木)に、①川の博物館&スイーツバイキング(9人) ②恐竜博物館・上野動物園(11人) ③東京スカイツリー・すみだ水族館(12人)の3コースに分かれて行きました。

天気予報ではあまり天候が良くないとのことでしたが、皆さんの気持ちに通じたのか、晴天とまではいきませんでした。日帰り旅行を行う事が出来ました。

日帰り旅行が近づいてくると連絡帳や仲間同士の話題も日帰り旅行の話で持ちきりでした。次の日も雑草に来ると仲間達の楽しいみやげ話が盛りだくさんでした。連絡帳を見ても「昨日はとても良い笑顔でニコニコしながら帰ってきました。」「楽しかったよ！と、嬉しそうにおみやげを持って帰ってきました。」「旅行の話を楽しそうに沢山話してくれました。」など、日帰り旅行の話題がいっぱいで、仲間が楽しんでくれたのがとても伝わってきました。

こんなに楽しんでくれたのだと思うと職員も「行ってよかったなあ」と、とても嬉しくなりました。

川の博物館& スイーツバイキング

埼玉県寄居町にある埼玉県立「川の博物館」に、行ってきました。そこには「かわはく」のシンボル大水車が仲間達を待っているかのようにそびえ立っていました。川や水に親しみ楽しみながら学べる参加体験型の博物館です。

一番仲間達が喜んだのは、アドベンチャーシアター。大画面に連動して座席が動くバーチャルシアターです。荒川～森と海を結ぶ旅～では、3D映像でスリリングな水上の旅を楽しみました。

昼食は、花園FORESTに行きました。運良くVIPルームを取ることが出来たので、優雅な気分を味わいながら食事が出来ました。カレー・パスタ・色とりどりのスイーツ・パン・ドリンク等など食べ放題でした。さらに嬉しいことにアウトレットコーナーがあり、バウムクーヘン等をおみやげに買った仲間も多かったようです。

あいにくの雨でしたが、仲間達も楽しめました。

上野動物園

恐竜博物館



午前中は、上野動物園。最初に見た動物は、パンダの「シンシン」と「リーリー」。笹を食べているのを見て、笹が折り紙に見えたのか、「折り紙 折り紙」と言っているHさん。他の皆も「かわいい！」と大騒ぎでした。その後も、何だかひょうきんなゴリラ、鳥コーナー、大きくてびっくりの白熊、暗闇でうごめく夜行性動物たちを、皆でわいわいガヤガヤと見て回りました。少し歩くのにも疲れたので、園内のモノレールに乗り、爬虫類館のあるスペースへ移動。意外とこのモノレールに恐怖感を味わっている仲間もいて、驚きです。爬虫類館は、大蛇や大きな亀がいて、スケールのでかさに皆、身を乗り出して見ていました。

昼食は、園内のレストランで美味しくいただきました。

午後は、国立科学博物館内の恐竜博物館へ行きました。実物大の骨を見て、恐竜の名前が言えたり、「骨・骨」と言って動物園よりも興味を示したりと意外な一面を見ることができました。館内のカフェでソフトを食べたりお茶を飲んだり、ゆっくりとした後、常設展を見て、家路につきました。

仲間たちも、一日たくさん歩いて疲れたと思いますが、疲れを見せず、予想外の皆の体力にもびっくりでした。当日は、雨にも降られることなく、良い一日となりました。

東京スカイツリー

すみだ水族館



「やっぱり今年話題になったスポットといえば…」という仲間や職員の希望で、「東京スカイツリー・すみだ水族館」巡りが実現しました。電車を2回乗り継ぎし、お待ちかねのスカイツリーが窓から見えた途端、「すごーい！」と歓声があがりました。

午前中は、全員で水族館へ行きました。クラゲやサンゴ礁、かわいいペンギンやお魚がいっぱいいて、みんな大興奮でした。また、360度全方向から見られる水槽で対面の仲間の手を振ったり、写真を撮ったり、大水槽の魚の群れにうっとりしたりと、それぞれ違った楽しみ方をしていました。

午後は、2グループに分かれてソラマチ商店街でお買い物をしました。キャラクターショップやスイーツ専門店を回り、お目当ての限定グッズ品やお菓子を買いました。帰りの電車では、「〇〇買いました。」「ご飯や試食ケーキおいしかったよ。」「また行きましょね。」など、ここに来られて良かったという感想が飛び交っていました。充実した1日でした。

女性ホームに大型液晶テレビをいただきました！！

上尾ロータリークラブ様から42インチの大型液晶テレビが寄贈されました。9月20日にホームで贈呈式がありました。(写真がその時の様子です)。

それまでは大きなリビングに小さなテレビしかなかったので、入居者のみなさんもさほどテレビをみようという気にならなかったのか天気予報やニュースを見るくらいでした。でも、このテレビが来てからは違います。DVDでジャニーズの歌を見ながら歌ったり、踊ったり、好きな番組を見たりと夜の時間の楽しみが増えました。液晶なので映像も鮮明で、さらに画面も大きいのですが迫力、臨場感が全然違います。みんなで

楽しんでます。ありがとうございました。

(岩淵 敦子)



わたしたちを動かすもの

(きょうされんTOMOの表題より)

今年6月に、障害者自立支援法に代わり、障害者総合支援法が成立しました。

当事者や家族の違憲訴訟の闘い、「障害者制度改革推進会議」の55名の構成員の作った骨格提言、毎日の国会前での路上集会、国会請願署名、様々な運動を続けてきました。

こうした運動により、利用者負担の軽減があり、たとえ僅かでも改善につながりました。

しかし、私達の望む法律は成立しませんでした。

また、障害者自立支援法が成立した10月31日に、抗議の意をこめて、毎年「大フォーラム」を厚労省の側の日比谷公園で開催してきましたが、今年は開催を見送りました。

それ故に、反原発の運動の広がりにも励まされます。震災によってもたらされた原発の惨状を自分たちの問題として捉えたこと、またツイッターなどの新しい情報伝達手段も大きく貢献していたのでしょうか。

一方、障害者の運動が広がらないのはなぜか？と思います。

人は、他人の立場に立って考える・思うことはなかなかできるものではありません。障害者は統計上800万人弱、全人口の6%前後です。だから、障害者問題は少数派で、広げるのは困難かもしれません。しかし、社会的弱者を大切にす社会こそが人を幸せにする社会だというメッセージを伝えることが、今大切なのではないのでしょうか？これも私たちの重要な責務です。しかしこれまでの活動は充分とはいえません。私たちはなにを目指すのか？なぜ運動が必要なのか？どう進めたらいいのかを問いながら、手を取り合って一歩ずつ進んでいきたいですね。

(荒川 伊津美)

障害者生活支援センター あらぐさより

陸前高田市の障害者実態調査活動に、当法人の生活支援相談センター職員1名を派遣しました。

以下はその報告です・

私は9月6日～12日まで日本障害フォーラム:JDF(きょうされん加盟)の依頼を受け、陸前高田市の障害者実態調査活動に参加してきました。陸前高田市が、市役所機能(高台の仮庁舎で業務は再開されている)も含めてほぼ壊滅状態の中、同市の障害者の台帳再作成と、今後の同市の障害者計画づくりに生かしていくという目的で、市より調査を依頼されて、全国の職員が調査活動の支援を実施したというものです。調査は2人1組で概ね5班程度で、1週間交代で約2000件の調査活動を6月～10月までおこない、同市に報告しています。

復旧もまだ始まったばかり

実際に行ってみて感じたのは、復興ではなく、復旧も始まったばかりだということでした。まだがれきのやまがあり、陸前高田高校は写真のとおり全滅、旧市街地は鉄筋の建物以外は、全てが津波に飲み込まれて、広い平地と化し、あたり一面は雑草が生い茂って、奇妙な緑の平原となっていました。海岸わきのガソリンスタンドは見てのとおり約20m近い津波が押し寄せたようで、実際見ても実感がわきませんでした。JR大船渡線(未だ復旧のめどはたっていない)の線路が津波到達地点でレールごと寸断され、勿論駅舎は見る影も無く、地盤沈下で海水が入り込んだままの田畑など、津波被害の地区は原型復帰の展望が全く感じられませんでした。

私が行った事務所は内陸にあるのですが、それでもそばの川を遡上してきた津波が約10mの高さとなって地域を襲い、多くの被害がでたそうです。旧市街地は建築の再開が津波被害の関係で厳しく規制されているようで、港の復旧も含めて大幅に遅れており、地元住民の不安と怒りは増すばかりという感じで、国の責任での一刻も早い復旧を願わずにはいられませんでした。

調査活動から

私が現地に入った時は、調査自体はかなり進んでいましたが、逆に困難ケースが残っているということでした。18歳以下の児童・生徒や就学前世代は、いずれかの組織(学校等)に属しているので先行して調査はおこなわれており、私は在宅の高齢障害者や精神障害者の調査が主でした。

以下特徴的なことを挙げます。

- ① 数そのものは少ない(人口3万人→他市町村への転居等で約2万人に減少)
- ② 市域が広く、震災前から行政制度が行き渡っていない地域が多い。
- ③ 海沿いの半島地域は、集落ごとに固まっており、情報が得やすい反面、集落ぐるみで厳しい地域もあるなど、様々な感じでした。
- ④ 高齢者は特に、福祉(行政)に「お願い」するのは敷居が高い傾向があり、調査が厳しい場面もありました。
- ⑤ 仮設住宅はやむをえませんが、高台にあり、高齢・障害・乳幼児・妊産婦等弱者については、もっとインフラ整備(バス・店舗・医療・金融)を積極的におこなわないと、生活が改善されないと感じました。
- ⑥ いかかわしい団体が入り込んで、無料で送迎サービス等をおこなっており、仮設住宅の掲示板にも貼りだしていて、弱みに付け込んで何だと思いました(報告には挙げました)

事例から

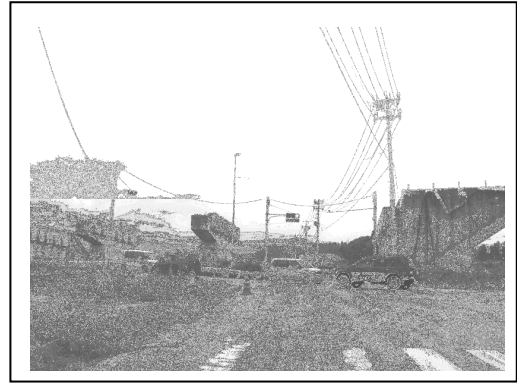
- 1 仮設で1人暮らしの高齢障害者。障害よりも疾病で目耳機能が退行しており、ヘルパー派遣必要ありだが、週1回来る子の援助で大丈夫と思いついでいるケース。報告にあげて、当面民生委員に依頼して見守りを増やし、ヘルパー利用につなげる。
- 2 日中1人の高齢障害者。高台のため津波はまぬがれたが、日中は緊急車両も入らない急な山の上で、1人(子は夜帰宅)歩行困難になっている。介護保険の説明をして、家事・身体の介護をすすめると(初めて聞いた:本人談:涙流して喜ぶ)、夜間子に連絡して(子も制度知らず)了承とる。ヘルパー事業所とケアマネジャーに連絡。翌日に市担当課に報告。
- 3 同じく高台の頂上で周囲から全く孤立している精神障害者。異臭もあり周辺の様子からゴミ屋敷であることも把握。本人不在のため、近隣聞き取り。兄弟も同様で入院中、本人は就労中だが、近所では孤立していて、集落では厄介者扱いになっていることが判明。後日確認のため、市担当と民生委員に訪問してもらう約束をとる。
- 4 高齢障害者(大家族)身内が津波で複数亡くなり、残された孫を引き取ったため、大家族になり途方にくれている。自営していたが、全て流されて再建のめどもたっていない。孫を抱えてどう生きるのか、国は自分のような家は助けてくれない。ぜひ全国に伝えてほしい。→保育園利用が可能であることを伝え、事務局から市に連絡入れて、近日常に利用申請していくことを確認。

まとめ

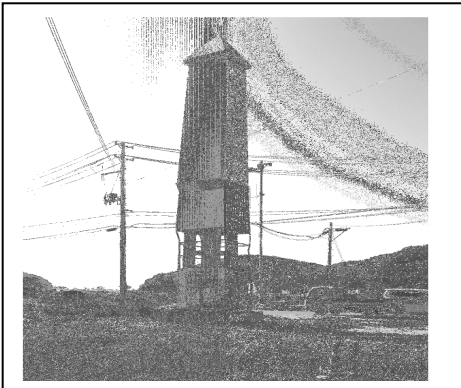
陸前高田市は、市街地が壊滅し、病院・役所・港・鉄道・商業地等全て失い、マイナスからの再出発となっています。必要な施設は直ちに再建し、街づくりの拠点を組織するのは当然ですが、それにしても冒頭述べましたが、もっと国の責任を迫り、災害に強い街づくりを大至急やらなくてはなりません。住宅や病院、学校や避難所の再建、放射能対策等ハード面はもちろんのこと、福祉分野での特例事項での制度活用や、医療福祉職員による、対話・見守り・相談・支援等のソフト面での抜本的な強化が今すぐにでも必要だと強く感じました。改めて人に寄り添い、その人の立場にたって、支援を考えることが大切だと思いつつ、言うべき事はきちんと国・県に対して言っていくという、運動を広げていかなくてはなりません。今回の調査の中では予想はしていましたが、やはり障害者(特に在宅)は取り残されており、死亡率も高い状態です。なぜ取り残されるのか、を今後も継続して調査し、災害時だけではなく、日常的に把握されて、ともにこの街で(生まれ育った陸前高田で)ゆたかにくらしにいけるようにしなくてはなりません。支援センターはどこにいても、常に行政と連携しながら、障害者の生きる権利を保障していくことが仕事であると、強く感じた1週間でした。一度では伝えきれないので、次号でも載せていくつもりです。(支援センター 中富)



気仙沼港に打ち上げられた漁船



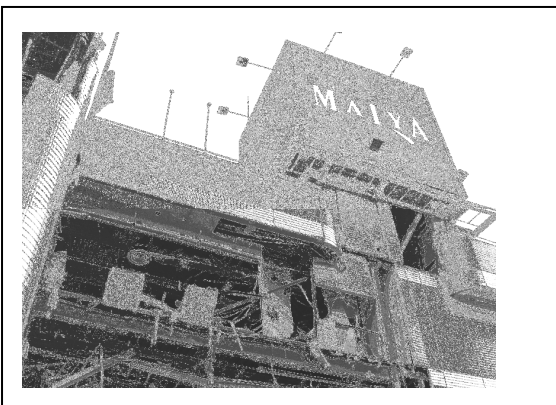
流されて橋脚だけ残っていました



事務所近くの広告塔、内陸部ですが
10mまできました。



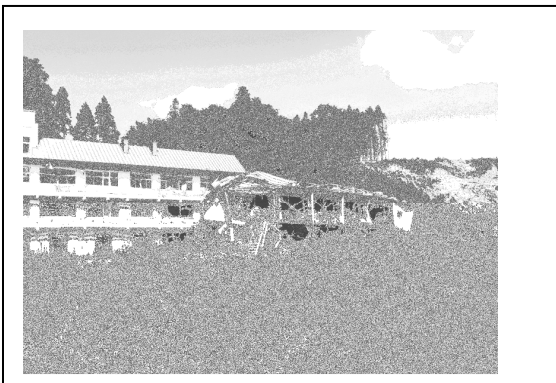
調査訪問先の住宅、全壊していました



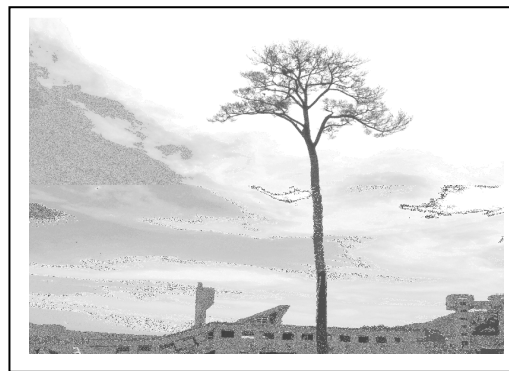
T Vでも有名になった市街地のスーパー、
全滅。



一本松近くのG S、津波が20m高まで3階まで
きました。看板（フの字）



陸前高田高校、裏山まで津波がきて校舎は全壊



伐採前日に撮影した一本松

第19回あらぐさコンサート開催

第19回あらぐさコンサートを開催いたします。今回は、ジャズ・スイング&ソウル！ビッグバンドの大御所、宮間利之&NEWHERD そしてスペシャルゲストに綾戸智恵さんを迎え、仲間と共に楽しいコンサートにしたいと思っております。皆様お誘いあわせの上ぜひ、ご来場下さいますようよろしくお願いいたします。日程は、下記の通りです。

宮間利之&NEWHERD スペシャルゲスト 綾戸智恵

日時 2013年2月23日(土)

17:00開場 18:00開演



場所 上尾市文化センター

料金 S席5000円 (障害者割引4500円)

A席4500円 (障害者割引4000円)

自由席4000円

後援 上尾市・上尾市教育委員会・上尾市社会福祉協議会

きょうされん埼玉支部

詳しいお問い合わせは、「雑草」へお願いいたします。 電話 048-726-5720

これからの活動予定

上尾産業まつり 11月10日(土) 11日(日) 上平公園

今年は、場所が変わり、上平公園で行われます。ぜひお越しください。



お知らせコーナー

◆お歳暮に雑草のバタークッキー詰め合わせはいかがでしょう？

詰め合わせサンプル

① 300円袋 10個入り
3. 150円



② 200円袋 10個入り
2. 100円



③ 200円袋 6個入り
1. 300円

間もなくお歳暮の季節です！

今年も是非、お歳暮に雑草のクッキーはいかがでしょう？

一味違う雑草のクッキーは、とてめご好評をいただいています。

ご予算に応じてお作りします。 郵送も承ります。

お気軽に お問い合わせください。

◆ **カレンダー販売にご協力お願いします。**

2013年度 きょうされんカレンダー	<u>1. 200円</u>
2013年度 ちひろカレンダー	<u>1. 400円</u>

編集後記

先月の末に、この10月号の編集について話し合っていました、その時はまだまだ暑く、今日の涼しさは想像ができませんでした。しかし、各地では紅葉も始まり、確実に秋はやってくるのですね。今では、もう来年の予定も決まってきた、焦るばかりです。

来年早々には、あらぐきコンサートを行うので、忙しくなりそうですが、より良いコンサートになるよう活動したいと思っています。
(小谷英子)